検証結果【企業版ふるさと納税活用事業】

No.	事業名	事業概要	事業実施状況	ＫＰＩ及び寄附額			担当課における評価		検証委員会評価
							所見	評価	
1	市道・林道整備事業	本市には豊かな自然環境や歴史的・文化的観光資源があるが、山間部と平野部に点在する観光地とのネットワーク整備が課題となっている。また、森林資源にも恵まれているが、林道や林道と幹線を結ぶ市道の整備が十分でないため、間伐等の森林整備作業や木材の搬出に支障を来している。 そこで、市道と林道を一体的に整備し、点在する観光地間のアクセス向上による宿泊者の維持と、素材生産量増加による雇用の創出に取り組み、人口の転出超過の抑制につなげる。	市民や各種団体からの要望を受けて、緊急性や安全性など整備が必要な市道の整備を進めた。また、遅れている森林基盤整備の早期完成に向けて、令和5年度より林道大谷山線開設工事に着手し、事業を推進している。 令和6年度の実績としては、市道25路線と、県営を含む林道6路線の整備に取り組んだ。	①	市内宿泊施設宿泊者数の維持（令和7年度）	**※本事業においては、中間年度の令和5年度及び最終年度の令和7年度にのみ、目標を設定している。**	最終年度である令和7年度終了後に事後評価を行う。	⑤事業効果を確認できない	**③当該事業が総合戦略の達成に「有効であったか検証できない」**
				②	市内素材生産量の増加（令和7年度）				
				寄附額（単位：千円）					
				500					
2	子どもたちに感動を与える芸術体験事業	地域交流センター「ミライズ」の市民ホールを活用し、市内の子どもたちに音楽や舞台など、「本物の芸術」に直接触れる機会を提供する。	令和6年度は、小学校4年生から中学校3年生まで計1,260人を対象に、ミライズ市民ホールを会場として、「カノンムジークフィルハーモニー管弦楽団」によるオーケストラコンサート鑑賞、指揮、バイオリン演奏体験が実施された。 【講演内容】 オーケストラ演奏、楽器紹介、指揮体験、バイオリン体験（小のみ）、手拍子メドレー（小のみ）	①	芸術体験事業参加者の満足度	目標：90% 実績：92% 達成率：102.2%	事業実施後に行ったアンケートの結果、約92%がこの事業を肯定的に評価していた。「また聴いてみたい。」「自分も演奏してみたい。」という感想も多く、音楽に対する興味や関心が高まっていることもうかがえる。	①本事業は地方創生に非常に効果的であった（指標が目標値を上回ったなど）	**①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」**
				寄附額（単位：千円）					
				100					

No.	事業名	事業概要	事業実施状況	ＫＰＩ及び寄附額			担当課における評価		検証委員会評価
							所見	評価	
3	デジタル学習教材活用事業	児童・生徒が学習意欲を維持しながら、仲間とともに楽しく学べるデジタル教材を導入し、学びをサポートする仕組みを設ける。 生徒の学習・主体性育成・進路を総合的に支援することで、児童・生徒一人ひとりが主体的に学ぶきっかけづくりをサポートする。	児童・生徒に一人一台整備されているタブレット端末に、当該教材を導入することによって、基礎学力や学習習慣の定着を図ることが期待できるとともに、授業中だけでなく家庭での児童・生徒の学習や生活状況を見守ることができるなど、これまで以上にきめ細やかな指導が可能となった。 小学生　タブドリＬｉｖｅ！ 活用児童数：1,014人 中学生　スタディサプリ 活用生徒数：682人	①	中学校におけるデジタル学習教材の活用率（アクティブ率）（暦年）	目標：60% 実績：61% 達成率：101.7%	中学校では、夏季休業期間中は活用率が低下したが、冬季休業期間中には全6校中5校で活用率が向上したため、家庭学習の意識づけに効果があったと考えられる。 家庭学習に使えることなどから、児童･生徒や教師にも好評であるため、継続して使用していく。	②本事業は地方創生に相当程度効果があった（目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度（7～8割）達成したなど）	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」
				②	中学校におけるデジタル学習教材の活用率（アクティブ率）（8月）	目標：40% 実績：21% 達成率：52.5%			
				寄附額（単位：千円）					
				1,200					
4	中学校部活動移動支援事業	市内中学生が希望する部活動に打ち込むことができるよう､練習環境を改善することを目的として、学校間及び学校から練習会場間を移動する際の支援を行う。	710便、3,772人の移動支援を行った。主な経路は以下のとおりである。 軟式野球：岩倉中学校から江原中学校 サッカー：江原中学校から美馬中学校 女子バレーボール：岩倉中学校と穴吹中学校の相互 女子ソフトテニス：三島中学校から私営テニスコート、穴吹中学校から私営テニスコート 男子ソフトテニス：穴吹中学校から私営テニスコート	①	学校間の移動支援を利用した合同チーム数	目標：3チーム 実績：3チーム 達成率：100.0%	移動支援を行うことで、希望する活動ができるようになり、更に保護者等への負担も大幅に軽減された。	①本事業は地方創生に非常に効果的であった（指標が目標値を上回ったなど）	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」
				②	学校から練習会場間の移動支援を利用したチーム数	目標：3チーム 実績：3チーム 達成率：100.0%			
				寄附額（単位：千円）					
				2,000					

No.	事業名	事業概要	事業実施状況	ＫＰＩ及び寄附額			担当課における評価		検証委員会評価
							所見	評価	
5	学校施設管理事業（小・中）	児童・生徒が1日の多くの時間を過ごす学校を、ソフト・ハードの両面から安全・安心・快適な環境に保つため、適切な管理運営を行う。	液体石鹸を、市内小・中学校へ配布し、トイレ等の手洗い場へ配置を行い、手洗い時に使用することで、適切な殺菌や消毒による感染症の拡大防止に努めた。 小学校　8校　各1箱（20本入） 中学校　6校　各1箱（20本入）	①	液体石鹸設置校数（小・中）	目標：14校 実績：14校 達成率：100.0%	学校における手洗い習慣の意識づけにつながった。	①本事業は地方創生に非常に効果的であった（指標が目標値を上回ったなど）	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」
				寄附額（単位：千円）					
				※物納による寄附のため、財源としての充当はなし。 物納金額は、114千円分					
6	「旧穴吹橋モニュメント」保存プロジェクト	「旧穴吹橋モニュメント」は、旧穴吹町のランドマークとしてその役目を果たしているが、設置から30年以上が経ち、塗装の剥がれや、躯体の腐食が進んでいる。 当該モニュメントを市有数の観光資源である「穴吹川」のランドマーク、シンボルとして、また、貴重な昭和時代の歴史的遺産として再生し、市民や市出身者・市外から訪れる観光客に愛着のある風景・シンボルとして記憶され、リピーターが増えることを目的とし、塗装の塗り替えを行う。	「旧穴吹橋モニュメント」の塗装の塗り替え工事を実施した。（令和7年2月完了）	①	転出超過数（暦年）	目標：0人 実績：85人 達成率：未達成	周囲の景観の向上及び道路への塗装の剥落を防止することができた。 また、企業版ふるさと納税により、本事業に3件の寄附が寄せられ、寄附を通して市と企業との、継続的な「つながり」づくりに貢献できた。	③本事業は地方創生に効果があった（目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど）	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」 ※委員からは「事業とKPIの関連性が低いが、周辺住民やSNSから肯定的な反応が見られる」との意見があった。
				寄附額（単位：千円）					
				5,800					

No.	事業名	事業概要	事業実施状況	ＫＰＩ及び寄附額			担当課における評価		検証委員会評価
							所見	評価	
7	子育て応援ポイント付与事業	子育て世帯の経済的負担の軽減と地域経済の好循環化を図るため、「入学祝いポイント付与事業」として、小学1年生と中学1年生の保護者に対し、デジタル地域通貨MIMACAのポイント（1人あたり50,000円相当）を付与する。 また、「第3子以降みまっこポイント付与事業」として、小学1年生～中学3年生の第3子以降の保護者に対し、MIMACAのポイント（1人あたり50,000円相当）を毎年度付与する。	・入学祝いポイント付与事業 付与対象児童数：410人 ・第3子以降みまっこポイント付与事業 付与対象児童数：304人	①	ポイント利用率	目標：98% 実績：97% 達成率：99.0%	物価高騰等による子育て世帯の経済的負担の軽減と地域経済の好循環化につながった。	②本事業は地方創生に相当程度効果があった（目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど）	**①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」**
				寄附額（単位：千円）					
				15,000					
8	元気っずプログラム実践事業	平成30年11月21日に美馬市と大塚製薬株式会社との間で締結した健康増進に関する連携協定及び徳島ヴォルティス株式会社を含めた三者で締結した覚書に基づき、未来を担う子どもたちの「体力・運動機能の向上」、「健康的なからだの育成」などの「元気な子どもを育む」ために官民一体となって課題解決に取り組む。	令和6年度は、市内の認定こども園及び幼稚園に通う5歳児123人を対象に、運動及び栄養プログラムを実施した。 ・運動プログラム（各こども園等で12回、巡回指導を各こども園等で1回実施）･･･徳島ヴォルティスのコーチがボール遊び等を園児に指導したほか、巡回指導では保護者も参加することで、家庭でのプログラムの実施を促進した。 ・栄養プログラム･･･大塚製薬の協力の下、熱中症対策飲料や栄養補助食品を配布したほか、ワークブックやＳＮＳを通じて子どもの成長に必要な栄養情報等を発信した。	①	からだを動かす遊びが好きになった子どもの割合（増加）	目標：10ポイント 実績：6.9ポイント 達成率：69.0%	目標値を上回ってはいないが、事業の成果指標としている「プログラム開始時に運動遊びが好きでなかった園児のうち、プログラム終了後に改善した園児の割合」が84.2%、「プログラム開始時に運動遊びが好きでなかった園児を除く園児のうち、プログラム終了後に維持又は改善した園児の割合」が95.2%となるなど、十分な効果があると考えられる。	②本事業は地方創生に相当程度効果があった（目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど）	**①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」**
				寄附額（単位：千円）					
				1,138					

No.	事業名	事業概要	事業実施状況	ＫＰＩ及び寄附額			担当課における評価		検証委員会評価
							所見	評価	
9	木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業	山間部にある美馬市木屋平、古宮、口山地区では医療機関が身近ではなく、若者との交流機会も少ないため、薬剤師等による見回り服薬サポートと安否確認を実施するとともに、大学薬学部と連携して、へき地医療研修を通じ大学生と高齢者との交流を深める。平成29年度から旧木屋平中学校校舎を改修した木屋平複合施設（小さな拠点づくり事業）に入居し、活動を継続している。	ＮＰＯ法人「山の薬剤師たち」に在籍する薬剤師3名が、美馬市内の中山間地域に位置する3地区を巡回し、医薬品の配送、服薬の指導、安否確認の声かけや見守り活動を行った。 令和6年度事業実績 訪問日数　　205日 訪問人数　　739人(3.6人/日)	①	見回り服薬サポート年間回数	目標：210回 実績：205回 達成率：97.6%	実績は目標値に届かなかったが、スタッフ等の配置体制は昨年と同様で、効率的な事業運営が図られており、サービスも高水準で維持されている。	②本事業は地方創生に相当程度効果があった（目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど）	**①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」**
				寄附額（単位：千円）					
				100					
10	美馬に夢をひらくアクティブライフ推進事業	本市の歴史文化・伝統技術等を深く学べる機会を提供することを目的とし、平成29年度から事業を実施していた「美馬市生涯活躍のまち」推進に係る「大学連携いきがい支援プログラム」開発等事業により開発した内容を用い、生涯学習講座「美来創生みま学講座」を開講する。 ・講座数：13講座（映像等記録含） ・開催場所：美馬市地域交流施設「小星ベース」	美馬市と包括的連携協定を締結している四国大学に講座の開講（講座コンテンツの開発を含む。）を委託し、美馬市内に在住・在勤・在学する者を対象に、全13回の講座を開講した。（対面講座8回、体験講座1回、オープンカレッジ（Ｚｏｏｍ）4回） また、「学び直し」の機会提供の拡充に活用するため、講座の撮影・編集・ＤＶＤ化を行ったほか、これまでにＤＶＤ化したみま学講座を誰でも自由に視聴できるよう、地域交流センターミライズ2階の市立図書館内にＤＶＤ視聴コーナーを設けた。（視聴可能講座：27講座）	①	美来創生みま学講座受講者数	目標：520人 実績：272人 達成率：52.3%	受講者数が目標値を上回ることはなかったが、受講者アンケートの結果、参加者の満足度は平均約94%と高く、市民の「学び直し」の機会提供に効果があったと考えられる。	③本事業は地方創生に効果があった（目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど）	**①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」**
				寄附額（単位：千円）					
				100					

No.	事業名	事業概要	事業実施状況	ＫＰＩ及び寄附額			担当課における評価		検証委員会評価
							所見	評価	
11	美馬市×大塚製薬×徳島ヴォルティス連携健康づくりプロジェクト	平成30年11月21日に美馬市と大塚製薬株式会社との間で締結した健康増進に関する連携協定及び徳島ヴォルティス株式会社を含めた三者で締結した覚書に基づき、平成31年度から令和5年度までの間、姿勢の悪さや慢性的な痛み（肩痛、腰痛等）を感じる20歳以上の市民延べ1,800人を対象として、運動プログラム、栄養補給及びＩＣＴ活用による活動量の「見える化」を行うことにより、運動機能の改善を通じた運動習慣の定着化を図り、将来的な医療費及び介護給付費の抑制を図る。 令和6年度以降は、令和5年度までの成果を踏まえ、より幅広い市民にコンディショニングを普及し、運動機能の改善を通じて、ライフパフォーマンスの向上を図ることを目的に、取組を継続する。	・令和6年度は、これまでに新型コロナウイルスの影響で中止となった2クール分を実施したほか、1日で動作評価やコンディショニングの振り返りを行うワンデイプログラムを4回開催した。 ・修了者支援として、運動会のほか、クール終了3週間後にもプログラムを実施した。 ・コンディショニングに関する一段高い知識や技術を身につけた市民を「コンディショニングエクスパート」に認定する養成講座を開催し、60人を養成した。 ・地域おこし協力隊及び上記エクスパートにより、地域でのコンディショニング教室を開催した。（市内22ヵ所、241人を指導）	①	※参考※令和元年度から5年度の5年間の参加者のうち、運動習慣がなかった人の運動定着率	目標：60% 実績：64.8% 達成率：108.0%	5年間トータルのＫＰＩ達成状況は、①目標60%のところ64.8%、②目標70%のところ84.9%と、いずれも目標値をクリアし、市民の健康増進と本市が進める「美と健康のまちづくり」に繋がる効果が現れている。	①本事業は地方創生に非常に効果的であった（指標が目標値を上回ったなど）	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」
				②	※参考※令和元年度から5年度の5年間の65歳以上の参加者のうち、「基本チェックリスト」の運動機能に係る5項目うち3項目該当者の改善率	目標：70% 実績：84.9% 達成率：121.3%			
				寄附額（単位：千円）					
				1,000					